メーカー名　長野工業

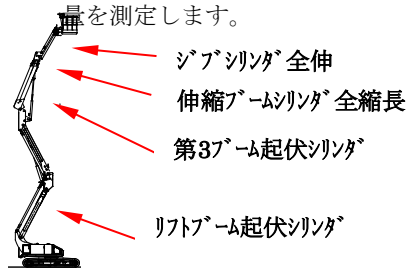
クローラ式(内燃機式)

適用範囲		モデル名			NUS10N
		適用号機又はスペック番号			10NS20051～
区分	検査箇所	運用項目　※測定条件、方法		単位	検査基準値
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	ローアイドル	min^{-1}	1500±50
			ハイアイドル	min^{-1}	2450±50
		弁すき間	吸気弁	mm	0.145～0.185
			排気弁	mm	0.145～0.185
		圧縮圧力		MPa/min^{-1} (kgf/cm^2)	3.23～3.26 (33～37)
		回転速度		min^{-1}	250
走行装置	履帯 クローラベルト	鉄シュー	張り(たわみ量)※5	mm	145～155
			クローラリンクピッチ (4リンクピッチ)※8	mm	101.6
	走行ブレーキ	制動距離		m	−
	駐車ブレーキ	最低停止保持勾配		°	11.5
作業装置	ブーム	スライディング パット部ガタ	上下方向	mm	1
			左右方向 上側	mm	1
			左右方向 下側	mm	1
		スライディングパット摩耗量		mm	2
油圧装置	油圧ポンプ	リリーフ圧	ブーム起伏	Mpa	20.8±1
			ブーム伸縮 伸	Mpa	10.0±1
			ブーム伸縮 縮	Mpa	20.8±1
			走行側	Mpa	20.8±1
		ポンプ回転数	低速	min-1	1500
			高速	min-1	2400
		※作動油		ー	VG32
		油温		℃	40±10
	油圧シリンダー	自然降下量※1	起伏	mm/10min	2以下
			伸縮	mm/10min	2以下
			平衡装置	mm/10min	2以下
安全装置	車体傾斜角 警報装置	作業角度	前後	°	3.0±0.5
			左右	°	3.0±0.5
	高速走行規制	ブーム角度		−	水平以上
		ブーム伸縮		−	格納以上
	傾斜地走行停止規制	許容傾斜以上	ブーム角度	−	水平以上
			ブーム伸縮	−	格納以上
	作業範囲規制装置	作業範囲規制　※9		−	○
		モーメントリミッタ　※9		−	−

適用範囲		モデル名			NUS10N
		適用号機又はスペック番号			10NS20051～
区分	検査箇所	運用項目　※測定条件、方法		単位	検査基準値
総合テスト	作業速度 測定方法※2	起伏(リフト)	上	s	35±6
			下	s	35±6
		伸縮	伸	s	25±6
			縮	s	25±6
		旋回	右	s	60±6
			左	s	60±6
		バスケット首振	右	s	17±6
			左	s	20±6
		走行	2速	km/h	2.3±0.5
			高	km/h	1.3±0.3
			低	km/h	0.7±0.3

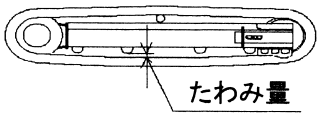
※1、ﾌﾞｰﾑｼﾘﾝﾀﾞｰ自然降下量測定

1、伸縮ﾌﾞｰﾑｼﾘﾝﾀﾞを全縮長にします。
2、各ﾌﾞｰﾑｼﾘﾝﾀﾞｰを最伸長にします。
3、そのままの姿勢で10分間放置しｼﾘﾝﾀﾞｰの縮み
量を測定します。

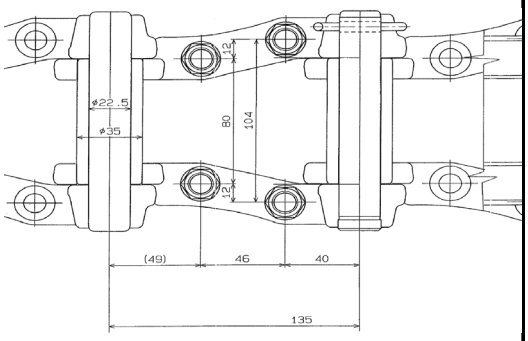


※5、ｸﾛｰﾗ張り調整

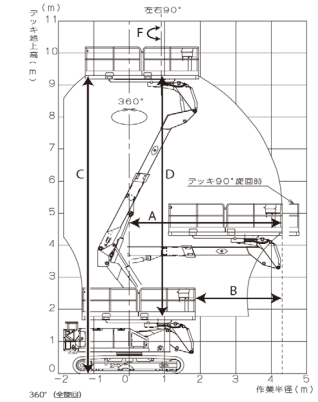
1、ｸﾛｰﾗを地面から浮かせて下さい。
2、ｸﾛｰﾗの中央部に最も近いﾄﾗｯｸﾛｰﾗ下面とｸﾛｰﾗ
の転動面との間隔（たわみ量）を測定します。
3、たわみ量が規定値となる様にｱｼﾞｬｽﾄｼﾘﾝﾀﾞｰの



※8、ｸﾛｰﾗﾘﾝｸﾋﾟｯﾁ

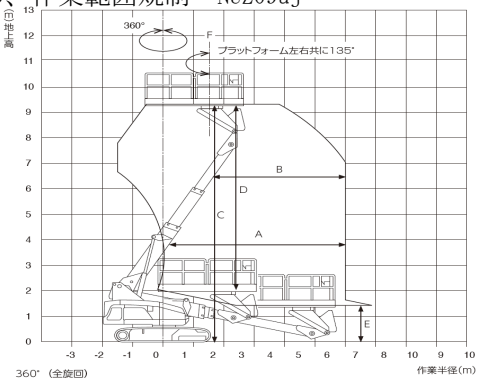


※9、作業範囲規制　NUZ09A-6



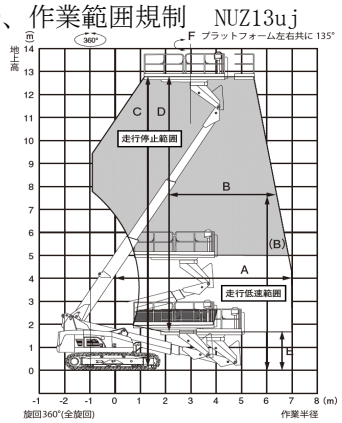
1. 作業範囲図は、ブームのたわみは考慮されていません。
2. 作業範囲図は、360 度どの方向でも同じです。
3. 作業範囲図は、水平堅土上におけるものです。
4. カウンタウエイトは、必ず所定の位置に取りつけてあるものとします。

※9、作業範囲規制　NUZ09uj



1. 作業範囲図は、ブームのたわみは考慮されていません。
2. 作業範囲図は、360 度どの方向でも同じです。
3. 作業範囲図は、水平堅土上におけるものです。
4. カウンタウエイトは、必ず所定の位置に取りつけてあるものとします。

※9、作業範囲規制　NUZ13uj



1. 作業範囲図は、ブームのたわみは考慮されていません。
2. 作業範囲図は、360 度どの方向でも同じです。
3. 作業範囲図は、水平堅土上におけるものです。
4. カウンタウエイトは、必ず所定の位置に取りつけてあるものとします。